

Labo News

らぼニュース

発行所 公益社団法人愛知県臨床検査技師会
 住 所 名古屋市中村区名駅5-16-17
 花車ビル南館 〒450-0002
 電 話 052-581-1013
 F A X 052-586-5680
 ホームページ <http://www.aichi-amt.or.jp/>
 Eメール aamt@aichi-amt.or.jp
 取引銀行 三菱東京UFJ銀行 柳橋支店
 普通口座731-677
 発行人 梶山 広美
 編集人 山田 真

No.413 目次

- ◆公益社団法人愛知県臨床検査技師会
法人設立30周年記念式典のご案内 …… (2)
- ◆庶務部・組織部のお知らせ …… (2)
- ◆平成28年度定時総会開催報告 …… (3)
- ◆新人サポート研修会開催報告 …… (4)
- ◆地区だより …… (5)
- ◆学術部研究班行事予定 (H28年度後期) …… (6)
- ◆生涯教育研修会開催報告 …… (7)
- ◆第59回愛知県糖尿病療養指導研究会
学術講演会 …… (7)
- ◆日臨技中部圏支部生物化学分析検査研修会 …… (7)
- ◆基礎講座・研究会 …… (8)
- ◆平成28・29年度
公益社団法人愛知県臨床検査技師会役員 …… (10)

会長就任にあたって

会長 梶山 広美

平成28年6月18日の定時総会において、平成28年、29年の代表理事に再任いただき、2期目の会長職を務めることになりました。今期は、副会長1名と監事1名を含む13名の役員が新しく就任しました。すでに、平成28年度の事業は始まっていますが、今までの活動を引き継ぎ、さらなる愛臨技の発展並びに会員の皆様と一緒に考え行動できる技師会へと役員一同努めてまいります。

さて、1期目の2年間を振り返り、最初の年は松本前会長の後を引き継ぎ公益社団法人としての運営基盤確立を行い、翌年は、公益社団法人の初めての監査があり無事終えることができました。活動においては、当会の事業目的をもとに事業方針と3年間の事業目標を定めることにより、各部門の活動を明確にして事業が展開できるように取り組みました。各部門において、達成できたこと達成できなかったことありますが、学術部門においては活動強化、渉外部門においては組織強化をさらに推進します。そして、これからの2年間ですが、大きな事業が2つあります。平成29年に法人設立30周年を迎えること、平成29年9月30日、10月1日に第56回日臨技中部圏支部学会を愛知県担当で開催することです。忙しい2年間になりそうですが、計画された事業をしっかり進めてまいります。重点実施事項の1つに、会員一人ひとりに支援が出来る事業への取り組みがあります。学術活動や地区活動を通じて推進し、女性技師、若手技師の活躍推進にも取り組んでいきたいと考えます。また、日臨技との連携については、チーム医療推進の中で取り組んでいきます。

最後に、会員への情報発信は、らぼニュースとホームページですが、日々広報部の活動によりホームページも利用しやすくなっていると思います。技師会活動を幅広く知っていただきいろいろな活動に参加いただけると幸いです。今後とも、会員の皆様のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

公益社団法人愛知県臨床検査技師会 法人設立30周年記念式典

公益社団法人愛知県臨床検査技師会は、平成29年に法人設立30周年を迎えます。これもひとえに関係各位の皆様のご指導の賜と深く感謝申し上げます。このたび、30周年を記念し下記要領で記念講演会並びに記念式典を開催することになりました。会員のみなさまにおかれましては是非ご出席くださいますようお願い申し上げます。

記

日 程：平成28年10月29日(土)
会 場：栄ガスビル
名古屋市中区栄三丁目15番33号
記念講演会：15時～16時
テーマ「バイオミミクリーの可能性(仮題)」
講 師 東京農業大学農学部 長島 孝行 教授
記 念 式 典：16時～17時

バイオミミクリーは、「生物模倣技術」と和訳されます。近年、生物のもつ技術を人間の社会や生活に生かそうとする研究で、我々の身近で言えば、蚊の吸血機構を模倣した痛くない注射針の技術などが該当します。最近では、サメの歯を模倣することにより細菌が付着しない病院の壁の研究が行われたりしています。一般的な社会生活のなかでは、最近よく目にする蓋に付着しないヨーグルトも、蓋にハスの葉の表面構造が利用されています。これら、バイオミミクリーの研究について、第一人者である東京農業大学農学部の長島孝行教授にご講演いただきます。

以上

庶務部からのお知らせ

熊本地震義援金のご報告

当会では、4月に発生いたしました熊本地震への義援金を募集して参りました。会員皆様からの募金総額として60,469円もの思いをお預かりいたしました。会としての義援金と合わせ総額10万円として、熊本県ゆうちょ銀行を通じ被災地に届けさせていただけます。

庶務部

組織部からのお知らせ

「平成28年度検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会」の延期についてのお知らせとお詫び

らぼニュース6月号でご案内いたしました「平成28年度検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会」について、都合により本講習会開催を延期せざるを得なくなりました。

会員の皆様、関係各位にお詫びしご理解を賜りますようお願い申し上げます。

延期時期は、秋頃に開催を計画中しております。決まり次第ホームページ、らぼニュースでお知らせします。

組織部

公益社団法人愛知県臨床検査技師会 平成 28 年度定時総会開催報告

庶務部長 夏日久美子

去る平成28年6月18日(土)午後4時より、TKPガーデンシティ名古屋新幹線口 大会議室8Aにおきまして、公益社団法人愛知県臨床検査技師会平成28年度定時総会が開催されました。はじめに梶山会長より、平成27年度事業についてご審議をいただくこと、また平成29年9月30日、10月1日には平成29年度日臨技中部圏支部医学検査学会(第56回)を愛知県で開催することが決まっておりますその協力をお願いしたいこと、などについての挨拶がありました。次いで議長に谷 浩也氏が選出され、総会運営規程に基づき書記、資格審査委員兼議事運営委員、議事録署名人が選出されました。資格審査委員長から正会員数3,062名(過半数1,531名)のところ出席者数179名、委任状出席2,061名の合計2,240名の出席があり、総会が成立していることが宣言され議案審議へと進みました。審議事項として、第1号議案「平成27年度事業報告」、第2号議案「平成27年度決算報告」、第3号議案「平成27年度監査報告」、第4号議案「平成28・29年度役員選任について」の各議案はともに賛成多数で承認されました。報告事項として、「平成28年度事業計画」、「平成28年度収支予算」についての報告が行われました。総会に引き続き、愛知県健康福祉部保健医療局長の松本一年氏(代読:健康福祉部保健医療局生活衛生課主幹大寫雄二氏)を来賓としてお迎えしご挨拶いただいた後、第16回愛知県医学検査学会学術奨励賞、功労賞、永年職務精励者の表彰式が執り行われました。学術奨励賞は、豊橋市民病院の手嶋充善氏と藤田保健衛生大学病院の久野未稀氏が受賞され、功労者表彰は6名、永年職務精励者表彰は64名が受賞されました。おめでとうございます。



新人サポート研修会開催報告

平成28年度新人サポート研修会を開催しましたので報告します。6月11日(土)午後2時に開会し12日(日)午後5時に終了いたしました。会場は名古屋市立大学医学部医学研究棟11階講義室AおよびBで、内容は新人をターゲットに、日当直に関連した内容で企画いたしました。11日はまず新入会員および非会員に対し日本臨床衛生検査技師会の説明があり、その後一般検査研究班の尿定性検査と髄液検査の基礎と生理検査研究班の心電図検査の基礎の講義がありました。12日は輸血検査研究班の輸血業務の基礎、病理細胞検査研究班の病理・細胞検体の保存と処理方法、生物化学分析検査研究班の緊急検査関連の生化学・免疫検査について、血液検査研究班の緊急検査関連の血液検査について、微生物検査研究班の微生物の基礎と組織部企画として医療従事者の接遇基礎について研修を行いました。

参加者は144名、内訳は会員が103名、今年度会員登録中の新人の非会員が41名でした。今回新人お二人に感想を書いていただきましたので紹介します。

新人サポート研修会に参加して

名鉄病院 梅林 翔

平成28年6月11、12日に行われた新人サポート研修会に参加させていただきました。研修会では日当直の業務に関連する基礎をわかりやすく丁寧に教えていただき、これから日当直の業務を行うにあたり大変勉強になりました。また、私は生化学に所属しているので、フィブリンや溶血、EDTA2Kの影響や精度管理の重要性を再確認することができ、改めて気を付けてルーチンの業務を行おうと思いました。

研修会はただ講義を聞いて終わりではなく、2択の問題ですぐに復習することができました。講義の最後には必ず質問をする時間が設けられており、疑問に思ったことをその場で解決することができました。また、接遇についての講義もあり、隣の人と実際に会話をしながら学ぶことができました。

今回の研修を通じて学んだことを生かし、一人前の臨床検査技師となれるよう日々精進していきたいです。最後になりましたが、この研修会を開催するにあたり関わったすべての方にこの場をお借りし、心から御礼申し上げます。

新人サポート研修会に参加して

独立行政法人地域医療機能推進機構 中京病院
田中 美菜

平成28年6月11・12日に行われた新人サポート研修会に参加しました。新人技師を対象に日当直に関する内容で、これから日当直トレーニングを始める良い勉強になりました。私の今の配属先は生理検査なので生化学・免疫検査の講義のうち特に測定前に検体の確認、検査値に与える影響、それによりどのように値が変化するのかその対処方法などが勉強になりました。各講義の最後には2択の問題が出題され講義の内容を復習することができ理解が深まりました。

2日目に行われた「医療従事者の接遇基礎」では、自分も相手も尊重するコミュニケーション（アサーティブコミュニケーション）について学びました。ただ単に自分の意見を主張するのではなく、相手の意見も沿うような形でコミュニケーションを行うコツを教えて頂きました。患者様と接する際、アサーティブコミュニケーションを取り入れることで検査を受ける患者様の不安を軽減し、円滑に検査を進めることを実践したいと思います。

就職して約3カ月で日々の業務をこなすことが精一杯ですが、本研修会のテキストを参考に日当直業務で困ったときに活用したいと思います。また、このような研修会などに参加することは新たな知識を習得し、業務に対する自分の責任・自信にもつながるのでこれからも積極的に参加したいと考えます。最後にこのような企画をしていただいた諸先生に感謝いたします。



当院におけるカプセル内視鏡検査への取り組み

～画像読影支援センター立上げとカプセル内視鏡読影支援技師育成～

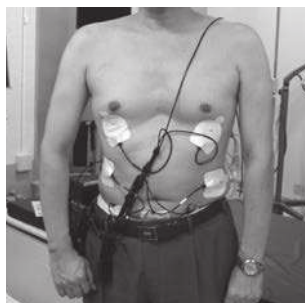
社会医療法人宏潤会大同病院

田中富士男

カプセル内視鏡検査とは、超小型カメラを内蔵したカプセルを飲み込むだけの内視鏡検査です。検査手順としては、飲み込んだカプセルは小腸や大腸を通過しながら画像を撮影し、その画像は腰に取り付けたレコーダーに転送保存され、レコーダーからデータを読影システムにダウンロード後、パソコン上で読影し診断されます。近年カプセル内視鏡を導入した病院も多くなり、原因不明の消化管出血精査や大腸ファイバーの挿入が困難だった患者等を対象に、従来ファイバーでは観察できなかった部位までをカプセル内視鏡検査で確認できるようになりました。しかし、カプセル内視鏡の読影業務は画像枚数が非常に多く、医師が日常診療を行いながら読影を行う事は困難です。また、カプセル内視鏡の読影には経験を積んだ専門家が必要ですが、病院に配置できないのが現状でした。

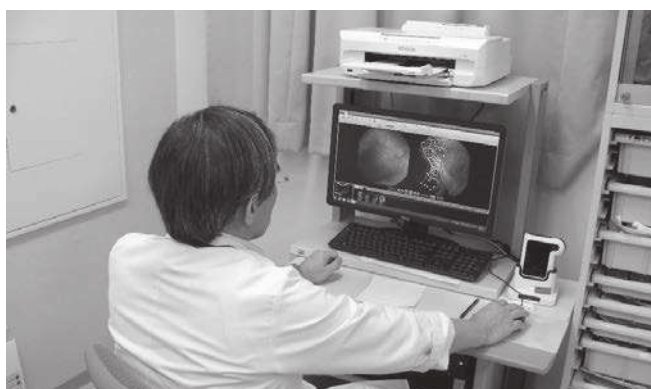
当院では、2013年3月から小腸カプセル内視鏡を導入し、2014年3月には大腸カプセル内視鏡を導入しました。この検査装置の導入に伴い2014年1月に画像読影支援センターを立ち上げ臨床検査技師1名を読影業務とセンター運營業務を行う専任技師として、2014年4月より本格的に運用開始し、同時にカプセル内視鏡読影支援技師育成を始めました。カプセル内視鏡読影支援技師の育成には各科協力のもと医療スタッフ（兼務）を配置し、まず学会認定eラーニングの受講と学会参加を行いました。また、読影力向上のため、読影業務に専従する時間の確保を各部署に依頼し、読影業務の時間確保（週に1回2時間）を行いました。現在、画像読影支援センターは、臨床検査技師3名、内視鏡担当看護師2名、診療放射線技師3名の計8名がカプセル内視鏡読影支援技師の有資格者となり、カプセル内視鏡画像読影の一次読影をカプセル内視鏡読影支援技師が担当し、二次読影を内視鏡担当医師が行い読影レポートを作成しています。

今後は、カプセル内視鏡読影支援技師の認知を院内外に促し、読影業務、院内勉強会、学会参加なども継続して行い、限られた時間の中で読影力の向上に努める必要があります。



カプセル内視鏡のサイズ

①	②	③	④	名称	長さ (mm)	外径 (mm)
				①大腸カプセル	31	11
				②小腸カプセル	26	11
				③ピタノイリン50	19.4	6.6
				④ネキシウム	11.4	4.6



学術部研究班行事予定（H28年度後期）

開催日時		担当研究班	行事種別	テーマ	開催場所	教科区分
10月	1日(土) 15:30～18:00	微生物検査研究班	研究会	蚊媒介感染症について（仮）	リップルスクエア(シスメックス)（仮）	専門教科
	8日(土) 15:30～17:30	一般検査研究班	研究会	AiCCLS寄生虫リーフレット発刊紹介	リップルスクエア(シスメックス)	専門教科
	15日(土) 15:00～17:00	生理検査研究班	研究会	心電図	名市大	未定
	16日(日) 9:00～16:00	病理細胞検査研究班	基礎講座	乳腺の病理細胞検査学の基礎を学ぶ	名古屋大学医学部保健学科	専門教科
	16日(日) 9:00～17:00	微生物検査研究班	基礎講座	用手検査の基礎	名古屋大学医学部 基礎研究棟	専門教科
	16日(日) 9:30～16:30	生物化学分析検査研究班	基礎講座	分析の基礎と病態解明	刈谷豊田総合病院	未定
11月	5日(土) 15:00～17:00	生物化学分析検査研究班	研究会	（仮）リウマチと肺炎	未定	未定
	12日(土) 15:00～17:00	輸血検査研究班	研究会	症例検討会	豊田厚生病院	専門教科
	12日(土) 15:00～17:00	遺伝子染色体	講演会	家族性腫瘍（仮題）	スズケン名古屋 会議室	未定
	13日(日) 9:30～16:30	一般検査研究班	基礎講座	尿沈渣の基礎	名古屋大学医学部基礎棟	専門教科
	19日(土) 15:00～17:00	血液検査研究班	研究会	初心者向け！血液像の見方	リップルスクエア(シスメックス)	専門教科
	19日(土) 15:00～17:00	生理検査研究班	研究会	脳神経	名市大	未定
12月	3日(土) 15:00～17:00	病理細胞検査研究班	講演会	未定	未定	専門教科
	3日(土) 15:30～17:00	生殖医学検査研究班	講演会	少数精子の凍結保存	可世木レディースクリニック	専門教科
	4日(日) 10:00～17:00	生理検査研究班	基礎講座	心エコー	名古屋第二日赤	未定
	17日(土) 15:00～17:30	輸血検査研究班	講演会	未定	名古屋第一赤十字病院	専門教科
	17日(土) 15:00～17:30	一般検査研究班	講演会	膠原病	だいどうクリニック5階講堂	専門教科
	17日(土) 15:30～18:00	微生物検査研究班	講演会	細菌同定について（仮）	名古屋市立大学 医学研究棟11階講義室A	専門教科
1月	未定	生理検査研究班	未定	未定	未定	未定
2月	4日(土) 15:00～17:00	生物化学分析検査研究班	研究会	精度管理報告会	未定	未定
	5日(日) 10:00～15:00	生殖医学検査研究班	基礎講座	少数精子の凍結保存（ビデオディスカッション）他	八千代病院	専門教科
	11日(土) 15:00～17:00	病理細胞検査研究班	研究会	精度管理報告会	未定	専門教科
	11日(土) 15:00～17:30	一般検査研究班	研究会	愛知県精度管理報告会	名城病院地下大会議室	基礎教科
	18日(土) 15:00～17:00	血液検査研究班	研究会	精度管理報告会と好中球伝達講習会	リップルスクエア(シスメックス)	基礎教科
	18日(土) 15:00～17:30	輸血検査研究班	研究会	精度管理報告会	名古屋セントラル病院	専門教科
	18日(土) 15:00～17:00	生理検査研究班	研究会	精度管理報告	未定	未定
3月	4日(土) 15:30～18:00	微生物検査研究班	研究会	精度管理報告（仮）	名城病院（仮）	基礎教科

★注意 開催日時・テーマ・開催場所は変更される場合があります。参加の際は事前にらぼニュースあるいは愛臨技ホームページでご確認下さい。

H28年度後期 中部圏支部研修会・講習会 開催予定

開催日時	研究班	行事	テーマ	開催地
10月22日～23日	生物化学分析	研修会	疾患ガイドラインと血液検査データ —検査データを総合的に理解し、検査値から病態を探ろう—	三重県
11月5日～6日	微生物	研修会	感染症治療への貢献～微生物検査室のパラダイムシフト	静岡県
11月26日～27日	輸血	実技研修会	未定	静岡県
H29年1月7日～1月8日	一般	研修会	一般検査に「かがやき」を!!	富山県
1月21日～22日	血液	研修会	血液を好きになろう～苦手分野を克服して～	三重県
2月12日（日）	遺伝子染色体	研修会	『遺伝子染色体検査に触れてみませんか？ あなたの疑問、不安にお答えします』	愛知県 名古屋 (ウィंकあいち)
2月25日～26日	病理細胞	研修会	超音波穿刺吸引細胞診を学ぼう!—乳腺・脾領域—	三重県

生涯教育研修会開催報告

組織部長 牛田 展浩

平成28年7月2日(土)、名古屋大学病院医学部基礎研究棟3階 第2講義室にて生涯教育研修会を開催しました。

研修会は日本大学病院臨床検査部技術長の佐野和三(さのかずみつ)先生をお招きし、「国家試験と卒後教育 ～国家試験はこうしてつくられる・優秀技師はこうして育てる～」というタイトルで、これから臨床検査技師を目指す学生さんから若手、ベテラン技師まで幅広い年代の方々を対象に、国家試験への心構えと入職してからの自己研鑽、人材育成のヒントになればと企画しました。

当日は、技師会員40名の他、学生30名、計70名の多数の方々に参加していただき、佐野先生のご専門の微生物学分野における最近の国家試験問題の動向や、日々の臨床検査業務における心構えなどについて興味深いお話がされました。

組織部では今後も会員の皆様に有用な講演を企画していきますので、多数の参加をお願いします。

《愛臨技生涯教育認定登録団体研究会のご案内》

第59回 愛知県糖尿病療養指導研究会 学術講演会

テーマ：糖尿病は検査の病気

～検査を知って療養指導に役立てよう！～

日時：平成28年9月18日(日) 13:00～16:20

場所：名古屋大学医学部附属病院1号館地下会議室
一般講演

検査結果の見方について

－基準範囲、臨床判断値ってなに？－

安城更生病院 臨床検査技術科 岡田 元

検査の疑問に答えよう！－血液検査・尿検査編－

岡崎市民病院 臨床検査室 夏目久美子

検査の疑問に答えよう！－生理検査編－

豊橋市民病院 中央臨床検査室 手嶋 充善

特別講演

糖尿病治療 おさえておきたい最新の話題

豊橋市民病院 糖尿病・内分泌内科 部長

山守 育雄 先生



★本講演会は、「日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修会」として第1群1単位、第2群1単位が認定予定です。どちらかを選択してください。

【参加費】愛知県糖尿病療養指導研究会会員無料、その他参加者1,000円

日臨技中部圏支部生物化学分析検査研修会

専門教科：30点

日時：平成28年10月22日(土) 13:00～
平成28年10月23日(日) 12:00

場所：三重県教育文化会館
本館5階「大会議室」
三重県津市桜橋二丁目142番

テーマ：疾患ガイドラインと血液検査データ
～検査データを総合的に理解し、検査値から病態を探ろう～

申込締め切り：平成28年9月23日(金)

詳細は愛臨技HP研究班活動または日臨技HP会員専用サイト行事検索よりご覧ください。

基礎講座

微生物検査研究班

専門教科：20点

日時：平成28年10月16日(日) 9:00～16:00

場所：名古屋大学医学部 基礎研究棟
第1講義室・実習室

テーマ：「用手法検査の基礎
～機械じゃない検査を学ぶいい機会～」

担当：愛知医科大学病院 坂梨 大輔
刈谷豊田総合病院 犬飼ともみ
藤田保健衛生大学病院 細田 卓也

内容：微生物検査においても自動分析器が活躍する昨今ですが、今回の基礎講座は自動化されていないグラム染色、POCT、特徴づけ試験（カタラーゼやチトクロムオキシダーゼ）等をテーマに企画しました。検査の原理、正しい手技・判定方法、注意点など、講義（知識）と実習（手技）の両面から徹底的にお教えします。翌日からの業務にお役に立てる内容です。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

定員：30名程度 受付先着順
※申込状況により、こちらで調整させていただきます。

参加費：3,000円
(県外会員3,500円、非会員5,000円)

昼食代：1,000円 ※当日徴収します。

申込先：愛知県臨床検査技師会・微生物検査研究
班ホームページにて必要事項を記入し、
お申込み下さい。

申込期間：平成28年9月9日～9月30日

問合せ先：愛知医科大学病院 坂梨 大輔

アドレス：saka74d@aichi-med-u.ac.jp

電話番号：0561-62-3311 (内35823)

お知らせ

生涯教育点数が関係する行事に参加される方は、必ず会員証をお持ち下さい。

会員証をお忘れになった方は、自己申請して頂くことになります。

申請用紙は愛臨技HPの各種手続きにあります。

基礎講座

生物化学分析検査研究班

専門教科：20点

日時：平成28年10月16日(日) 9:30～16:30

場所：刈谷豊田総合病院 診療棟5階
第1-2会議室

刈谷市住吉町5丁目15

テーマ：分析の基礎と病態解明

講師：

1. 自動分析装置を基礎から学ぶ
株式会社日立ハイテクノロジーズ
医用システム製品本部
東京テクニカルセンター 加藤 恵
2. 自動分析装置に供給する純水の基礎と検査への影響
メルク株式会社
ラボラトリーウォーター事業部 金沢 旬宣
3. Reversed-CPC
刈谷豊田総合病院 腎・膠原病内科

小山 勝志

司会：名古屋第一赤十字病院 山森 雅大
刈谷豊田総合病院 磯部 勇太

内容：分析装置の基本原理と、分析における水の重要性について解説していただきます。また、症例を用いて病態MAPを作成し、データの読み方について理解を深めます。

定員：80名 参加費：1,000円

申込方法：①会員番号 ②氏名 ③施設名 ④所属
⑤連絡先（TEL、FAX） ⑥生化学免疫
検査経験年数を記載のうえ、Eメールにてお申込み下さい。

(件名は『基礎講座事前申込み』として下さい。)

申込先：厚生連江南厚生病院 臨床検査技術科
林 克彦

Eメール zebra@zebra.odn.ne.jp

連絡先 0587-51-3333

申込期限：平成28年9月18日(日)

但し、定員になり次第締め切ります。

*申込の受領については、9月25日までにEメールで連絡いたします。なお、昼食は各自でご用意下さい。

基礎講座

病理細胞検査研究班

専門教科：20点

日時：平成28年10月16日(日) 9:00～16:00

場所：名古屋大学医学部保健学科

本館2階第1講義室、第3講義室

名古屋市東区大幸南1-1-20

テーマ：乳腺の病理細胞検査学の基礎を学ぶ

講師：

1. 乳腺の解剖組織学とその疾患
JA愛知厚生連 海南病院 北島 聖晃
2. 乳腺の超音波画像
藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院 池田 美奈
3. 乳癌の遺伝子学とHER2 (FISH) 法
JA愛知厚生連 江南厚生病院 千田 美歩
4. 乳腺組織の凍結標本の理論と作製のコツ
西尾市民病院 中村 広基

実習：乳腺の凍結組織薄切、HER2 (FISH) シグナルの観察とカウント

内容：講義では乳腺の解剖組織学をはじめ超音波画像、遺伝子学、凍結標本作製の基礎を学び、実習では凍結組織の薄切とHER2 (FISH) のシグナルを観察します。今回の講座では、日本臨床細胞学会および認定病理検査技師のクレジットの申請をしています。

定員：40名

参加費：4000円

申込方法：下記申し込み事項について、E-mailにてお申し込みください。申し込み後1週間以内に受領メールが届かない場合は、連絡先までお問い合わせください。

申込事項：①会員番号 ②氏名 ③かな氏名 ④施設名 ⑤電話番号(内線) ⑥病理経験年数 ⑦細胞検査士番号 ⑧認定病理検査技師の有無 ⑨お弁当(1000円) 要・不要

申込締切：9月15日(木) (定員になり次第締切)

アドレス：pathoexa@yahoo.co.jp

連絡先：JA愛知厚生連 江南厚生病院

臨床検査技術科 住吉 尚之

TEL 0587-51-3333 (内線5639)

注意事項：受講料の納入方法などは受領メールにてお知らせします。

研究会

遺伝子染色体検査研究班

専門教科：20点

日時：平成28年9月10日(土) 15:00～17:00

場所：スズケン名古屋支店 2F 会議室

テーマ：「感染症における遺伝子検査」

講師：

1. 当院微生物検査室における遺伝子検査の現状—魔法のLAMPの使い方—
江南厚生病院 微生物検査室 河内 誠
 2. 新しいオンデマンドPCR遺伝子検査『GeneXpert』
セフィエド合同会社テクニカルサポート 上野 正貴
- 司会：半田市医師会健康管理センター 青木 佑太

研究会

生理検査研究班

専門教科：20点

日時：平成28年9月17日(土) 15:00～17:00

場所：名古屋市立大学 医学研究科 医学部研究棟11階講義室A

テーマ：腹部エコーからはじまる消化器診療

講師：名古屋掖済会病院 消化器科部長

大橋 暁

司会：名古屋掖済会病院

佐々木玲子

内容：腹部エコーを中心に色々な症例の診断プロセスをMRI、CTなどの画像を含めて消化器内科医師より解りやすくご講演頂きます。臨床医から求められるポイントを学べる機会です。多数の参加をお待ちしています。

2016年7月10日現在 正会員数 3,135名

※求人情報、理事会議事録はホームページを御覧いただくか、事務所へお問合せください。

平成28・29年度
公益社団法人愛知県臨床検査技師会
役 員



会長 相山 広美



副会長(総務部門) 藤田 孝



副会長(学術部門) 所 嘉朗



副会長(渉外部門) 中根 生弥



理事(庶務部長) 夏目 久美子



理事(会計部長) 森田 秀夫



理事(学術部長) 中井 美千代



理事(精度管理事業部長) 佐野 俊一



理事(組織部長) 牛田 展浩



理事(広報部長) 山田 真



理事(会計部) 堤 ちあき



理事(精度管理事業部AICCLS) 内田 一豊



理事(精度管理事業部) 菊地 良介



理事(学術部) 鈴木 博子



理事(学術部尾張西) 郡司 昌治



理事(組織部尾張北) 矢田 啓二



理事(組織部尾張東) 南里 隆憲



理事(広報部尾張南) 片山 孝文



理事(組織部知多) 白石 了三



理事(広報部西三河) 井上 正朗



理事(庶務部東三河) 神谷 秀典



監事 松本 祐之



監事 山崎 正夫